

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和4年1月28日（金曜日）10時～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 教育長報告

教育長職務代理者の指名について

4 事務局報告（公開）

（1）給与返還請求訴訟の判決結果について（教職員課）

（2）国家賠償請求訴訟の経過について（教職員課）

（3）男子72回・女子33回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について
（保健体育課）

（4）第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について
（保健体育課）

（5）次回定例教育委員会について

令和4年2月7日（月曜日）13時00分～

5 議事（非公開）

付第29号議案

令和4年度佐賀県立学校教職員配当基準（案）について（教職員課）

付第30号議案

令和4年度佐賀県市町立学校県費負担教職員配当基準（案）について
（教職員課）

付第31号議案

令和3年度第2回佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について
（学校教育課）

6 事務局報告（非公開）

（1）令和3年度第2回優秀な児童・生徒に対する教育長表彰について
（学校教育課）

（2）令和3年度善行児童生徒表彰（県教育長表彰）について
（学校教育課）

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和3年12月22日（水曜日）
2 場 所 教育委員会室
3 参集者 落合教育長、牟田委員、小林委員、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、大井手副教育長、大橋危機管理・広報総括監、副島教育総務課長、小野特別支援教育室長、井原教職員課長、江口学校教育課長、松尾保健体育課長、土肥教育総務課副課長、安田教育総務課係長、友清教育総務課主査

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

（1）開 会 10時49分

（2）前回議事録の承認

このことについて、落合教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

（3）教育長報告

11月定例県議会に係る知事からの意見聴取に対する回答については、11月24日に佐賀県教育委員会議決事項等に関する規則第2条第3項に基づく教育長の臨時代理で、「異存ない」旨回答したので、報告する。今回の臨時代理での回答は、「佐賀県公立学校職員給与条例の一部を改正する条例（案）」の給与改定に関するものである。

11月定例県議会に提出される議案に係る知事からの意見聴取については、11月補正予算案及び給与改定以外の「佐賀県公立学校職員給与条例の一部を改正する条例（案）」の2本に関して、11月定例教育委員会で臨時代理での回答にご承認をいただいたが、給与改定に係る「佐賀県公立学校職員給与条例の一部を改正する条例（案）」については、11月定例教育委員会の時点では、11月議会に議案を提出するかどうかについても含め、知事部局で検討中であり、知事から意見聴取があっただけであったが、その後、検討を終え、11月22日に知事から意見聴取があったところ。

3ページをご覧いただきたいが、内容は、10月定例教育委員会勉強会でご説明したものと変わっていない。については、佐賀県教育委員会議決事項等に関する規則第2条第4項の規定により、ご承認をお願いしたい。

（4）議事

【付第24号議案】

令和4年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員について

このことについて、議案書により小野特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（小野特別支援教育室長）

資料 24 - 2 をご覧いただきたい。幼稚部、高等部、専攻科の募集定員を一覧にしたものである。また、資料 24- 3 ページをご覧いただきたい。前年度との比較ができるように、また、志願見込者数についても記載している。(網掛けの部分)

高等部及び専攻科の募集定員の策定にあたっては、9 月下旬に県内の公立中学校及び県立特別支援学校を対象に行った進路希望調査を基礎とし、中学校から提出があった入学志願許可願書により精査を行った。志願見込者数は、資料 24 - 4 ページの合計欄のとおり、204 人となっている。この志願者の全てが志願したものとしても合格できるだけの募集定員を定めていくという考え方を持っている。この結果、令和 4 年度の高等部における募集学級数及び募集定員は、8 校合わせて 65 学級 370 人となる。これは、令和 3 年度と比較すると、募集学級数は 1 学級の増、募集定員は 8 人の増となっている。なお、盲学校の専攻科の幼稚部の募集定員については、表のとおりである。

高等部の志願見込者数の中には、進路希望調査の結果において、県立特別支援学校を第 2 希望あるいは第 3 希望としている生徒が含まれており、例年、最終的な入学者数は、この志願見込者数の 80% 台で推移しているところである。また、令和 4 年度の高等部の第 1 学年の学級数については、合格者が入学した段階で確定するため、今回の募集定員で学級数が確定するものではない。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛 (清) 委員)

中学校から高校に進む場合の判定で、「特別支援学校：適」(この表現が適当であるか分からないが) と判定された生徒の進学率はどれくらいか。

(小野特別支援教育室長)

県立以外となると、私立高校に進学している生徒さんが大部分と思われる。正確な数字は把握していないが、大和特別支援学校では、例年、10 名 ~ 20 名弱の生徒が私立高校に合格しており、入学希望を取り下げている状況。

(飯盛 (清) 委員)

高等部なので、入学可・不可の判定を下すのか。

(小野特別支援教育室長)

選考試験ではなく募集であるため、試験を行って判定することはしない。ただ、特別支援学校の対象かどうかの判定は事前に検討しており、状況によっては、学校にお知らせして、入学希望の取下げなどを行ってもらっている。

【付第 25 号議案】

佐賀県教育委員会が任命する職員の給与からの控除に関する規則 (案) の制定について

このことについて、議案書により井原教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(井原教職員課長)

資料 25 - 2 をご覧いただきたい。佐賀県職員給与条例及び佐賀県公立学校職員給与条例が改正され、給与からの控除に関する規定が設けられることに伴い、教育委員会が任命する職員の給与からの控除に関し必要な事項を定めるもの。これまで職員互助会の掛金等を給与から控除する場合、毎月の給与支給時に、書類に印鑑を押すことで控除の意思表示をする必要があったが、今回、給与から控除できる規定を設けることにより、書類に印鑑を押す手間が不要となり、職員の負担軽減につながる。

制定内容としては、職員の相互共済を目的とする団体で掛金などを控除できるものとして、一般財団法人佐賀県教職員互助会等を定めている。また、職員の職務の円滑な遂行又は職員の福祉の向上に資するものについて職員の親睦団体による会費等を定めている。施行期日は、令和 4 年 1 月 1 日である。以上、ご審議をお願いしたい。

【付第 26 号議案】

教育職員免許状に関する規則の一部を改正する規則（案）について

このことについて、議案書により井原教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（井原教職員課長）

資料 26 - 2 をご覧いただきたい。臨時免許状の検定授与に際して提出を求める書類の中に、最終学校の成績証明書があるが、最終学校となる大学などの成績の基準は各学校により様々であり、その結果を確立的に評価することが困難であるため、学力に関する合格基準を設けていない状況であった。そのため、成績証明書を提出していただいているにも関わらず、具体的な活用ができていなかった。

今回、学力に関する合格基準を「最終学校を卒業していること」とし、成績証明書の提出を不要とする。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

（飯盛（裕）委員）

長年、何に使われているのか不明な書類の提出を求めていたこともあり、断捨離は大切だと思う。

（飯盛（清）委員）

これは臨時免許状のみの改正なので、新卒採用者の免許状授与時は必要か。

（井原教職員課長）

そのとおりである。

（ 5 ）事務局報告

副島教育総務課長は、決算特別委員会（令和 2 年度決算）における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

（副島教育総務課長）

資料 1 - 1 をご覧いただきたい。11 月 4 日から 11 月 17 日までの 14 日間にて開催

され、文教厚生常任委員会において、「コロナ禍におけるスポーツ大会の開催について」「道徳教育について」「県立学校におけるオンライン教育の取組について」の3本について質問が行われ、議論がなされた。主な質疑及び答弁内容については、勉強会報告事項に記載しているので、ご覧いただきたい。

副島教育総務課長は、令和3年11月定例県議会における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

(副島教育総務課長)

資料2-1をご覧いただきたい。11月25日から12月15日までの21日間にて開催され、一般質問では、記載のとおり7項目、常任委員会では記載のとおり4項目の質疑がなされた。主な質疑及び答弁内容については、勉強会報告事項に記載しているので、ご覧いただきたい。

井原教職員課長は、令和3年度教育行政職員採用試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(井原教職員課長)

資料3-1をご覧いただきたい。9月定例教育委員会では、特別枠と大学卒業程度枠の結果を報告したが、今回は、11月16日及び11月25日に合格発表があった高校卒業程度(試験区分:教育行政)及び民間企業等職務経験者(試験区分:社会人経験枠(教育行政))の結果について報告する。

高校卒業程度だが、採用予定者数2名に対して受験者数が20名であり、採用予定者数と同じ2名の最終合格者数となっている。

次に社会人経験枠である。民間企業等で培った経験を学校経営の中で発揮して学校教育の発展に貢献してもらえような人材の確保を行っているところである。昨年度から受験年齢の上限が引き上げられ、50歳までとなっている。これは、3名の予定者数に対して48名受験をいただいた。最終合格者数は、採用予定者数と同じ3名ということで合格発表をしている。このほか、障がい者を対象とした選考試験を2回実施し、1名の採用予定者数としていたが、最終的な合格者はありません。来年度、改めて試験を実施する予定。教育行政職員採用試験はこれで終了となり、合計15名の採用予定となっている。今後も優秀な人材を確保していきたい。

【主な質問等】

(飯盛(裕)委員)

民間企業等職務経験者とは、県外からの受験が多いのか。また、業種はどのような方になるのか。

(井原教職員課長)

県内のほうが多い。業種については、今回合格した3名について、1名は知事部局の正規職員、2名は現在、市町立の臨時的任用職員であった。

(飯盛(清)委員)

障がい者を対象とした選考試験で、最終的な合格者がなかったとあるが、試験は実施したけれど合格者はなかったということか。

(井原教職員課長)

2回とも合格者はいたが、知事部局と競合してしまい、また、知事部局を希望されたため、最終的な合格者は0人となった。

(小林委員)

社会人経験者の合格者の年齢はどうか。

(井原教職員課長)

30代が1名、40歳代が2名となっている。

井原教職員課長は、令和4年度佐賀県立学校寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(井原教職員課長)

資料4-1をご覧ください。これについては、12月17日に合格発表を行ったものであるが、その選考試験の結果について概要をお知らせする。

試験については、11月6日に教育センターを会場として実施した。内容は、論文試験、一般教職教養試験、専門試験、面接試験の4つである。合格者数等の表に示しているとおり、今回の申込者数は、寄宿舎指導員が34名、実習助手が35名の計69名で、試験当日に3名の欠席者がいたため受験者数の合計は66名ということになった。

合格者数は寄宿舎指導員4名、実習助手が各1名ずつの4名という結果となった。少子化の影響による学級数の減少等もあり、今後の退職者数等の推移をみながら計画的に採用を行っていきたいと考えている。

江口学校教育課長は、令和3年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

(江口学校教育課長)

資料5-2をご覧ください。16の専門部のうち、審査等をしていない部門もあるが、12の専門部においては審査が行われ、その結果を記載している。これらの結果を参考にして、来年度、東京で開催される全国総合文化祭への出場が決定しているという状況である。

松尾保健体育課長は、第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会について、次のとおり報告した。

(松尾保健体育課長)

資料6-1をご覧ください。本県からは佐賀工業高校が出場するが、Bシードとなっているため、2回戦からの出場となる。12月30日に、高知県と静岡県どちらかの勝者と対戦することになっている。勝ち上がれば、1月1日元旦に3回戦となり、こ

れに勝てばベスト8となる。なお、ベスト8以降は、再抽選となる。

松尾保健体育課長は、男子74回・女子33回九州高等学校駅伝競走大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（松尾保健体育課長）

資料7-1をご覧ください。11月20日に佐賀県で開催された。男子は鳥栖工業高校が3位に入り、総合記録が2時間5分59秒であった。女子は白石高校が少し出遅れたが、終盤盛り返して10位に入り、総合記録が1時間13分20秒であった。

松尾保健体育課長は、男子41回・女子33回九州中学校駅伝競走大会（結果）について、次のとおり報告した。

（松尾保健体育課長）

資料8-1をご覧ください。12月4日に佐賀県で開催された。男子は、伊万里中学校が12位、啓成中学校が13位、唐津東中学校が14位、城南中学校が18位となっている。女子は、伊万里中学校が5位、東原彦舎中央校が7位、城東中学校が9位、啓成中学校が13位、大和中学校が18位となっている。

松尾保健体育課長は、第29回全国中学校駅伝大会（結果）について、次のとおり報告した。

（松尾保健体育課長）

資料9-1をご覧ください。12月19日に滋賀県で開催された。男子は、唐津東中学校が出場したが、ケガなどにより、48校中46位であった。女子は、伊万里中学校が出場し、48校中21位の大健闘であった。

【主な質問等】

（加藤委員）

指導者の方はほぼボランティアに近い状態で頑張っており、遠征などで色々な場所へ連れていく必要があるなど大変である。指導者を守っていけるような環境づくりをぜひお願いしたい。

（松尾保健体育課長）

部活動の課題については、文科省スポーツ庁含め重要視しており、県としても部活動改革を重要施策として位置づけ取り組んでいる。様々な問題に対して、検討を重ねているところである。

副島教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

（副島教育総務課長）

次回定例教育委員会は、令和4年1月28日（金曜日）10時00分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

(6) 議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第 27 号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により井原教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 28 号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により井原教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(7) 閉 会 12 時 00 分

令和4年1月定例教育委員会資料

(令和4年1月28日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

給与返還請求訴訟の判決結果について

平成26年度に佐賀県立学校で勤務していた常勤講師の給与過払金の返納を求め
るため、佐賀県が原告となり、少額訴訟による訴えの提起を行った給与返還請求事件
について、令和3年7月19日に被告側が福岡地方裁判所へ控訴の申立てを行った旨
報告していましたが、その後、令和3年11月2日に口頭弁論が行われ、令和4年1
月14日の控訴審において、本県の主張を全面的に認める判決がありました。

1 判決の内容：被控訴人（佐賀県）の勝訴

主文

- (1) 本件控訴を棄却する。
- (2) 控訴費用は控訴人の負担とする。

2 訴訟の概要

- (1) 控訴人 県立学校 元常勤講師（福岡県筑紫野市在住 女性）
- (2) 被控訴人 佐賀県
- (3) 控訴日 令和3年7月19日
- (4) 訴えの内容 第1審の結果（県側の全面勝訴）に不服を申し立てる。

3 第1審の判決内容（第1審判決日：令和3年6月30日）

主文

- (1) 被告は、原告に対し、5万3628円及びこれに対する平成26年11月26日から
支払い済みまで年5パーセントの割合による金員を支払え。
- (2) 訴訟費用は被告の負担とする。
- (3) この判決は、仮に執行することができる。

国家賠償請求訴訟の経過について

県に対して提起されていた国家賠償請求事件について、令和3年12月28日に訴えの取下げとなりました。

1 訴訟の概要

(1) 提訴日：令和元年5月30日（訴状到達日：令和2年2月28日）

(2) 原告：一般男性

(3) 被告：佐賀県

(4) 請求額：約30万円

(5) 訴えの内容

平成28年に原告が佐賀県総合運動場陸上競技場で盗撮していたこと等で逮捕され、その刑事裁判において、県立高校の教諭が、検察側の証人として証言した内容が偽証であったことから精神的苦痛を受けた。

2 取下げとなった理由

当事者双方が、令和3年11月26日に予定されていた第1回口頭弁論の期日に出頭せず、その後、一月以内に期日指定の申立てをしなかったため、民事訴訟法第263条の規定に基づき、訴えの取下げがあったものとみなされたため。

【参考：民事訴訟法】

(訴えの取下げの擬制)

第263条 当事者双方が、口頭弁論若しくは弁論準備手続の期日に出頭せず、又は弁論若しくは弁論準備手続における申述をしないで退廷若しくは退席をした場合において、一月以内に期日指定の申立てをしないときは、訴えの取下げがあったものとみなす。当事者双方が、連続して二回、口頭弁論若しくは弁論準備手続の期日に出頭せず、又は弁論若しくは弁論準備手続における申述をしないで退廷若しくは退席をしたときも、同様とする。

男子第72回、女子第33回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について

期 日 令和3年12月25日（土）

会 場 男子：京都市西京極陸上競技場付設駅伝コース（男子全国高校駅伝コース）
女子：京都市西京極陸上競技場付設駅伝コース（女子全国高校駅伝コース）

出 場 校 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校（12年連続46回目出場）
女子 佐賀県立白石高等学校（3年連続9回目出場）

結 果 男子 佐賀県立鳥栖工業高等学校 10位（2時間05分07秒）
女子 佐賀県立白石高等学校 22位（1時間12分02秒）

<男 子>

区間	距離(km)	選手氏名(学年)	区間記録		累計記録	
			順位	記録	順位	記録
1区	10	間瀬田純平(3)	7	29分10秒	7	29分10秒
2区	3	笠原 大輔(2)	9	8分13秒	10	37分28秒
3区	8.1075	山田 基貴(3)	22	24分44秒	11	1時間02分12秒
4区	8.0875	深堀 優(3)	11	23分49秒	11	1時間26分01秒
5区	3	廣滝 拓音(3)	7	8分57秒	10	1時間34分14秒
6区	5	竹下 史啓(3)	28	15分16秒	10	1時間50分14秒
7区	5	谷口 颯太(2)	15	14分53秒	10	2時間05分07秒

<女 子>

区間	距離(km)	選手氏名(学年)	区間記録		累計記録	
			順位	記録	順位	記録
1区	6	平島 ゆゆ(3)	26	20分58秒	26	20分58秒
2区	4.0975	白仁田萌花(1)	36	14分01秒	30	34分59秒
3区	3	橋本 奏(2)	12	10分18秒	24	45分17秒
4区	3	前田穂乃香(2)	24	10分01秒	23	55分18秒
5区	5	山口 咲栄(3)	13	16分44秒	22	1時間12分02秒

第101回全国高等学校ラグビーフットボール大会の結果について

- 期 間 令和3年12月27日（月）～令和4年1月8日（土）
- 会 場 東大阪市花園ラグビー場
- 参加校 51校
- 出場校 佐賀工業高等学校（40年連続50回目の出場）
- 成 績 4回戦敗退（ベスト8）
 - ・ 2回戦 12月30日（木） 対 静岡聖光学院（静岡）50－7
 - ・ 3回戦 1月 1日（土） 対 國學院大學久我山高校（東京）14－5
 - ・ 4回戦 1月 3日（月） 対 桐蔭学園高校（神奈川）0－26

近年の成績

年度	回	成績
平成9年度	第77回	ベスト8
平成10年度	第78回	ベスト8
平成11年度	第79回	3位
平成12年度	第80回	2位
平成13年度	第81回	ベスト8
平成14年度	第82回	ベスト8
平成15年度	第83回	ベスト8
平成16年度	第84回	ベスト8
平成17年度	第85回	ベスト16
平成18年度	第86回	2回戦敗退
平成19年度	第87回	ベスト8
平成20年度	第88回	ベスト8
平成21年度	第89回	ベスト16

年度	回	成績
平成22年度	第90回	2回戦敗退
平成23年度	第91回	ベスト8
平成24年度	第92回	ベスト16
平成25年度	第93回	ベスト16
平成26年度	第94回	ベスト16
平成27年度	第95回	ベスト16
平成28年度	第96回	2回戦敗退
平成29年度	第97回	ベスト16
平成30年度	第98回	2回戦敗退
令和元年度	第99回	ベスト16
令和2年度	第100回	2回戦敗退